

新たなまちづくりの 指針策定に向けて



富士見市長
星野 信吾

新年おめでとう ございます

市民のみなさまにおかれましては、健やかに、そして新たな気持ちで新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成21年は「政権交代」に象徴されるように、さまざまな出来事に遭遇した年でありました。安心安全にかかわるものを筆頭に、見過ごすことのできないニュースが、国内外から毎日のように飛び込んでまいりました。それらを振り返りながら、平成22年のス

タートにあたり、富士見市のまちづくりに向けた決意と想いを新たにしているところであり、

昨年を振り返って、 厳しい財政状況の中、 着実に事業を実施

昨年来、世界的な景気後退が市民の暮らしに影を落とし、雇用不安、税収の落ち込みなど計り知れない影響を受けています。こうした中、市では昨年4月に、市内6か所での財政状況と平成21年度予算



鶴瀬駅東口から市役所方面を望む

の内容について「説明会」を実施するとともに、5月には市民の生活不安に対処するために緊急経済対策本部を設置しました。

6月には定額給付金の支給とあわせて、商工会・商店会連合会を中心となり市、県の補助金を活用して市内の小売店の支援と地域の活性化を目的に、1万円で1万1千円分の買い物ができる「プレミアム商品券」を発売し、即日完売することができました。

7月には、市が抱えている430億円の借金を減らすために、無作為に選ばせていただいた

約60人の市民の方が「判定人」となり、国に先駆けて40事業について「事業仕分け」を実施しました。私はマニフェストの中で、政策決定過程や予算編成過程を公開しますとうたっていますが、この「事業仕分け」は、市民に開かれた予算編成への大きな一歩だと思っております。現在、市ではこの仕分けの結果について平成22年度予算に反映するための検討を行っているところです。

8月には、協働の理念に基づいた「南畑地域まちづくり協議会」が発足し、月に1回、これからのまちづくりの方向について議論を重ねていただいております。

9月には、国の臨時交付金を活用して、小・中・特別支援学校教職員、生徒向けのパソコンの導入、体育館トイレの改修、第一保育所の空調設備改修、道路修繕など2億6千万円の補正予算を組ませていただきました。

11月には、市役所前約20ヘクタールの開発を考慮するために、地権者や近隣住民の方などに22人の方で構成する「山室

・勝瀬地区協働のまちづくり推進懇談会」が設置されました。また、新規職員の採用試験の面接に、民間企業の識者の参加をお願いしました。

12月には、入札制度の改革を行うため、弁護士や専門家による入札監視委員会を設置し、透明性の高い入札に積極的に取り組んでまいりました。

未来を担う子どもたちのために、現在、ふじみ野小に普通教室5クラスの新設工事、諏訪小とふじみ野小の放課後児童クラブ増設を進めています。また、感染が拡大している新型コロナウイルスのワクチンについては、1歳から小学6年生までを対象に、ワクチン接種1回当たり千円の助成を行うことといたしました。そのほか、自力で家庭のみ出しができない世帯を対象にした「ふれあい収集事業」、水子旧暫定逆線引き地域のまちづくり、水谷人道橋の架け替え、コンピュータの新システムへの移行などに取り組んでまいりました。今後多く現に努めてまいります。

新たなまちづくりの 指針策定の年に

平成22年は、昨年に引き続き厳しい経済状況の中にありますが、これまでの関係者のご努力によりまして新しいまちづくりの芽が育ちつつあります。

土地区画整理事業の推進により、4月には、鶴瀬駅西通り線が三芳町の川越街道手前まで開通する予定です。また、鶴瀬第二団地の建て替えに伴うまちづくりについても、つ

るせ台小学校グラウンドの4月供用開始をはじめ、(仮称)つるせ台公園の整備、旧上沢小へ抜ける904号線などの道路整備を進めてまいります。

さらに、小・中学校の体育館の耐震化については、平成22年度中の完了を目指して取り組んでまいります。

子育て支援の面でも、平成23年4月を目標に、2か所の民間認可保育所の新設により、待機児童の解消に向け努力してまいります。

本年、市の大きな取り組みの一つが、平成23年度から10年間の新たなまちづくりの指針となる第5次基本構想の策

定です。現在、審議会設置とあわせて、構想策定初となる4つの専門部会からなる「基本構想策定ふじみ市民会議」(40人)と協働で検討作業を進めています。私は、今回の策定が自治基本条例ができて初めての取り組みであることから、策定の過程において「協働のまちづくり」を大切に、市民のみなさまと作った計画が、今後10年の中で大きく花開くよう、展望と意気込みを持って取り組んでまいります。

市民参画による「協働のまちづくり」を 目指して

明るく元気な富士見市をつ

るくために、市民のみなさま

が、それぞれの思いを大事に

して、本市のまちづくりにご

参画をいただき、「協働のま

ちづくり」をいっしょに進め

ていけることを心から願って

おります。

結びに、本年も市民のみな

さまにとりまして輝かしい年

山室勝瀬地区（市役所前） まちづくり推進懇談会がスタートしました

問合せ／まちづくり推進課 ☎441

市役所北側約20ヘクタールの地域「山室勝瀬地区」のまちづくりを話し合おうと「山室・勝瀬地区協働のまちづくり推進懇談会」が設置されました。

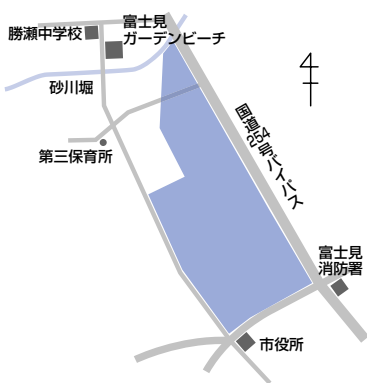
この懇談会は、地権者4人、近隣住民（山室町会、諏訪一丁目町会、勝瀬町会、渡戸東町会、南畑第2町会）10人、市民団体4人、商・工・農業関係者3人、市1人の計22人の委員で構成されています。

11月12日(木)、1回目の会議が市役所で開かれ、始めに市長が「多くの市民の方々から、市役所前の状態を懸念する意見をいただいている。地域の住環境や市の将来のためにも、まちづくりの原点に立ち返り前提無しで十分に議論し、まちづくりの方向性をご提案いただきたい」とあいさつ。その後、山室勝瀬地区の経緯についての報告、懇談会の進め方の確認、地区および周辺地域の現状の説明などが行われました。

懇談会では、次の4つの段階に分け検討を進めることが確認されました。

- 第1段階…情報共有のための現状把握
- 第2段階…地区の問題・課題および地域の要望などの整理
- 第3段階…問題・課題の解消と要望などの実現化方策の検討
- 第4段階…整備手法の検討

まちづくりの方向性の提案は、3月を目途にまとめていくこととなります。



みなさんとともに作る新しい基本構想 地域別懇談会を開催します

問合せ／政策財務課 ☎230

市では、平成23年度から10年間の新たなまちづくりの指針となる「第5次基本構想」の策定に向けて、審議会や市民会議を設置し検討を始めています。

さらに幅広く市民のみなさんといっしょに考える機会として地域別懇談会を開催します。ぜひご参加ください。

内容／基本構想とは・市の現状・市民意識調査結果・地域特性の説明、市の将来像に関する意見交換など

地域別懇談会日程／

時間はいずれも午後7時～9時

とき	場所
2月4日(木)	鶴瀬西交流センター
2月5日(金)	水谷東公民館
2月8日(月)	水谷公民館
2月9日(火)	市役所2階会議室
2月10日(水)	みずほ台コミュニティセンター
2月16日(火)	ふじみ野交流センター
2月24日(水)	南畑公民館

※申込不要、どなたでも参加できます。
※地域特性の説明は、開催会場の地域が中心になる予定です。
※車でのお来場はご遠慮ください（市役所を除く）。